

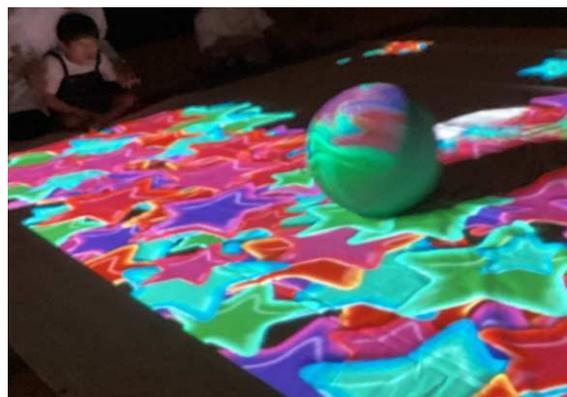
令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立中央特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立中央特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	160人

1. 使用状況

寄贈物品名	オミ・ビスタ（映像装置）
使用学年及び人数	小学部3年(7名)小学部6年(11名) 高等部(59名)
使用頻度	年10回程度
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動、特別活動、生活単元学習など、学習の時間で目的に応じて活用。 ・朝の時間や昼休みなどの自由な時間で活用(余暇としても)。 ・授業等で活用が図られるように、教職員向けにオミ・ビスタの使用方法を紹介。
物品の使用による変化や効果	<p>【自立活動】 学年みんなでベリーつぶしやトマトつぶしの活動に取り組んだ。ベリーやトマトをつぶすために、自分から腕を伸ばして触れようとする姿が見られた。また友達が取り組んでいる様子をじっと見たり、「自分もやりたい」と手を伸ばしたりする姿が見られた。</p> <p>【生活単元学習】 科学館への校外学習に向けて、事前学習の教材(「光の国」)として取り入れた。床に移る花火に手を大きく伸ばしたり、ボールを転がして星が動く様子をじっと見たりし、光の国を楽しむ様子が見られた。</p> <p>【休み時間(余暇)】 生徒が通るフロアに朝の時間と昼休みに設置し、自由に活動できるようにした。シャボン玉を割ろうと、意欲的に体を動かしたり、ゆっくりと泳ぐ魚を四つ這いの姿勢になって追いかけたりなど楽しむ姿が見られた。</p> <p>【教員への紹介】 オミビスタの使用方法的説明、実際に体験してもらうことで、授業の教材として使用することが増えてきている。</p>
今後の活用の見通しや課題	今後も授業の目標や活動内容に応じて、教材研究を行い、取り入れていけるようにしたい。
その他希望や所感など	このような教具を使うことで、肢体不自由のある児童生徒の教育活動が充実していくと感じます。寄贈していただき、ありがとうございました。

2. 活用の様子



【小学部4年生】

腕を伸ばして花火に触れようとしたり、花火の様子をじっと見たりする姿が見られた。
また、別の種類の投影ではボールが転がることで星が動くことがわかり、ボールが動く様子をじっと目で追う姿が見られた。



【小学部6年生】

友達と一緒にベリーつぶしの活動に取り組んでいる様子。ベリーを目で追ったり、腕を伸ばして触ろうとしたりする姿が見られた。



【休み時間】

投影する内容を日によって変えるようにした。
投影している上を自転車で通り抜けたり、写っている風船を割るために体を動かしたりする姿が見られた。